

## キイトルーダ<sup>®</sup>・アリムタ療法

FN - : 催吐性 軽

診断名：進行非小細胞肺癌（非扁平上皮癌）

<投与スケジュール>（1コース21日）

Day 1…アリムタ（MTA） div 500 mg/m<sup>2</sup>

Day 1…キイトルーダ（ペムブロリズマブ） div 200 mg/body

<注意事項>

1. キイトルーダ・アリムタ・カルボプラチン（シスプラチン）療法4コース実施後に開始。
  2. Infusion reaction. 主に初回投与時の投与中又は投与開始後 24 時間以内に出現。  
発熱、悪心、掻痒感、発疹、呼吸困難等。
  3. 本剤の T 細胞活性化作用により、過度の免疫反応に起因すると考えられる様々な疾患や病態があらわれることがあるため、免疫チェックポイント阻害剤専用検査セット等を用い甲状腺機能（TSH、遊離 T3、遊離 T4 等）、血糖値等定期的な検査を実施すること。
  4. 過度の免疫反応による副作用が疑われる場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等を考慮すること。
  5. アリムタ初回投与の7日以上前
    - ・パンビタン末（1日1回1g）：連日経口投与
    - ・メチコバル注（1回0.5mg×2）：筋肉注射（9週ごとに投与）
- ※投与を中止又は終了する場合は、最終投与日から 22 日目までパンビタン末を投与する。

2019年9月2日より施行